



2020年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月2日

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 松本 元春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 津田 幸一

TEL 077-537-1700

定時株主総会開催予定日 2021年3月30日 配当支払開始予定日

2021年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2021年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	242,886	5.7	17,660	8.6	19,109	24.3	15,252	
2019年12月期	257,511	14.3	16,258	34.6	15,373	22.5	33,669	

(注) 包括利益 2020年12月期 10,082百万円 (%) 2019年12月期 34,352百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	157.84		3.2	2.9	7.3
2019年12月期	348.50		6.8	2.2	6.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	658,139	476,920	71.7	4,886.10
2019年12月期	664,800	477,154	71.0	4,885.50

(参考) 自己資本 2020年12月期 472,198百万円 2019年12月期 472,030百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	47,861	19,759	7,739	121,215
2019年12月期	21,637	14,316	21,976	100,977

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期		50.00		50.00	100.00	9,661		2.0
2020年12月期		50.00		50.00	100.00	9,663	63.4	2.0
2021年12月期(予想)		50.00		50.00	100.00		62.3	

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	8.3	9,000	15.9	9,000	30.6	5,000	26.7	51.74
通期	260,000	7.0	20,000	13.2	20,000	4.7	15,500	1.6	160.39

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期	99,523,246 株	2019年12月期	99,523,246 株
期末自己株式数	2020年12月期	2,882,008 株	2019年12月期	2,904,626 株
期中平均株式数	2020年12月期	96,634,409 株	2019年12月期	96,614,429 株

(参考)個別業績の概要

2020年12月期の個別業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	115,001	6.8	5,326	198.5	11,319	24.7	14,088	
2019年12月期	123,371		1,784		9,075	66.6	47,479	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	145.79	
2019年12月期	491.43	

(注) 当事業年度より表示方法の変更を行ったため、2019年12月期の個別経営成績の売上高及び営業利益については、表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しており、対前期の増減率については記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	585,603	424,184	72.4	4,389.27
2019年12月期	575,979	421,868	73.2	4,366.33

(参考) 自己資本 2020年12月期 424,184百万円 2019年12月期 421,868百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.経営成績等の概況(1)経営成績の概況の次期の見直しをご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2月3日に当社ホームページ(URL <https://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

①概況

世界経済は、回復の兆しが見られるものの、米中通商問題や新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の拡大が経済活動に影響を及ぼし、先行き不透明な状況が続きました。国内経済は、年後半に雇用環境や個人消費等に改善の動きが見られたものの、回復は緩やかなものにとどまりました。

このような中、当社グループでは、徹底した感染防止策を講じつつ、市況の変化に柔軟に対応しながら事業活動を継続してまいりました。

当期（2020年1月1日～12月31日）においては、薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラスの堅調な需要を取り込んだものの、ガラスファイバが感染症拡大により自動車関連市場が大きく影響を受けたこと等から、売上高は前期（2019年1月1日～12月31日）を下回りました。

損益面においては、売上高の減少や稼働率の低下等の一方で、生産性の改善や費用削減等の効果により、営業利益及び経常利益は前期を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、多額の純損失を計上した前期と比較し大きく改善しました。

②当期の経営成績

	前期 (2019/1～2019/12) (億円)	当期 (2020/1～2020/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,575	2,428	△6
営業利益	162	176	9
経常利益	153	191	24
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△336	152	-

（注）記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

（製品別売上高）

報告 セグメント	区分	前期 (2019/1～2019/12)		当期 (2020/1～2020/12)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	1,344	52	1,361	56	17	1
	機能材料・その他	1,230	48	1,066	44	△164	△13
合計		2,575	100	2,428	100	△146	△6

（注）記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

（売上高）

電子・情報：

FPD用ガラスは、第2四半期（2020年4月1日～6月30日）は得意先の減産の影響を受けましたが、第3四半期（2020年7月1日～9月30日）以降、テレビやIT関連のディスプレイ市場が急速に回復したことから、出荷は前期を上回りました。価格は前期比で緩やかに下落しました。カバーガラス（化学強化専用ガラス）は、スマートフォン等の需要低迷により前期比で減少しました。光関連・電子デバイス用ガラスは、主に自動車部品向けが減少したものの、光関連ガラスが堅調であったことから出荷は前期比で増加しました。また、LTCC（低温同時焼成セラミックス）の合弁事業も売上に寄与しました。

機能材料・その他：

ガラスファイバは、感染症の影響もあり、第2四半期を底に第3四半期以降自動車部品向け高機能樹脂用途を中心に出荷が回復に転じたものの、前期比では減少しました。耐熱ガラス及び建築用ガラスは、感染症の影響により、出荷が前期比で減少しましたが、医薬用管ガラスは関連市場の旺盛な需要を受け、出荷が前期比で増加しました。

(損益面)

営業利益は、売上高の減少やガラスファイバの稼働率の低下等が利益を押し下げたものの、FPD用ガラスを中心に生産性が大幅に改善し、また費用削減の取り組みや工事の見直し等もあり、前期を上回ることができました。

経常利益については、前期は海外子会社への融資に係る債権債務の評価替えによる為替差損を計上しましたが、当期は為替差益に転じたこと等から、前期を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、2020年12月に発生した国内事業場における停電に伴い、操業の一時的な停止による費用等を特別損失に計上したものの、欧米ガラス繊維事業子会社に係る多額の減損損失を計上した前期と比較し大きく改善しました。

③次期の見通し

	2021年12月期 第2四半期連結累計期間 (2021/1～2021/6) (億円)	2021年12月期 通期 (2021/1～2021/12) (億円)
売上高	1,250	2,600
営業利益	90	200
経常利益	90	200
親会社株主に帰属する当期純利益	50	155

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

感染症は依然として収束の兆しが見えていませんが、世界経済は米国や中国を中心に持ち直しの動きが続くものと予想されます。

このような中、「電子・情報」の分野においては、FPD用ガラスは、上述の国内事業場における停電が2021年12月期第1四半期(2021年1月1日～3月30日)の出荷に一時的な影響を与えるものの、ディスプレイ市場の旺盛な需要を背景に堅調に推移するものと予想しています。また、中国廈門において生産能力の増強を行い、中国市場の需要を取り込んでいきます。カバーガラス(化学強化専用ガラス)は、用途拡大と新製品の拡販を推進していきます。光関連・電子デバイス用ガラスは、通信、自動車、医療等の成長市場に向けて開発と拡販に取り組んでいきます。

「機能材料・その他」の分野においては、ガラスファイバは、市況が急速に回復している中、需要動向に対応したグローバル生産体制の再構築を進めていきます。医薬用管ガラスは、2020年10月にマレーシアにおいて生産能力の増強を行いました。既存の設備を含め更なる生産効率の向上に努め、医薬容器市場の旺盛な需要に対応していきます。耐熱ガラスや建築用ガラスは、新製品や新用途の開発並びに拡販に取り組んでいきます。

損益面では、市場の回復に沿った設備の再稼働や将来に備えた新設備の立上げに伴う費用等が損益に影響を及ぼす可能性があります。更なる生産性改善や費用削減を推進し、収益性の向上に努めていきます。なお、上述の国内事業場における停電に伴う特別損失として、約65億円を2021年12月期に計上する見込みであり、連結業績予想に織り込んでいます。

以上を踏まえ、当社グループの次期の見通しを上表のとおり予想しています。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化、感染症の流行などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

(2) 財政状態の概況

①当期の連結財務状態の概況

	前期 (2019/12末) (億円)	当期 (2020/12末) (億円)	増減 (億円)
総資産	6,648	6,581	△66
負債	1,876	1,812	△64
純資産	4,771	4,769	△2

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(総資産)

当期末における資産合計は、前期末と比較して66億60百万円減少し、6,581億39百万円となりました。流動資産では、株主への配当金の支払いや社債の償還等があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加や新たに借入を行ったこと等から現金及び預金が増加しました。一方、感染症の影響による生産調整と下期からの販売の回復により商品及び製品が減少しました。

固定資産では、FPD用ガラス事業や医薬用管ガラス事業に係る設備の取得があったものの、減価償却が進んだこと等から有形固定資産が減少しました。また、投資有価証券の売却及び評価額の減少により投資有価証券が減少しました。

(負債)

当期末における負債合計は、前期末と比較して64億26百万円減少し、1,812億19百万円となりました。流動負債では、生産調整による仕入れの減少等により支払手形及び買掛金が減少したほか、社債を償還しました。一方、返済期限が1年以内の長期借入金の振り替えにより短期借入金が増加しました。

固定負債では、新たに借入を行ったものの、前述の短期借入金への振り替えがあったことから長期借入金が増加しました。

(純資産)

当期末における純資産合計は、前期末と比較して2億34百万円減少し、4,769億20百万円となりました。配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。また、一部の通貨で円高に振れたことから為替換算調整勘定が減少しました。

②当期の連結キャッシュ・フローの概況

	前期 (2019/1～2019/12) (億円)	当期 (2020/1～2020/12) (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	216	478	262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△197	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△77	142
現金及び現金同等物期末残高	1,009	1,212	202

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当期は税金等調整前当期純利益を計上しました。また、仕入債務が減少したものの、減価償却費の計上及びたな卸資産の減少がありました。これらの結果、当期において営業活動によって得られた資金は478億61百万円(前期比262億24百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主としてFPD用ガラスや医薬用管ガラス関連設備の固定資産の取得により、当期において投資活動に使用した資金は197億59百万円(同54億43百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

新たに借入を行ったものの、株主への配当金の支払い及び社債の償還等を行ったことから、当期において財務活動に使用した資金は77億39百万円(同142億37百万円の支出減)となりました。

③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期
自己資本比率 (%)	72.7	70.5	71.2	71.0	71.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.3	56.0	35.9	35.5	33.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.1	2.6	2.2	4.6	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	45.0	59.0	35.6	28.1	75.7

自己資本比率： 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率： 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率： 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ： 営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しています。また、有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち長短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー（流動負債 その他）を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

(基本方針)

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けています。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、業績の変動に大きく影響されることなく長期的に安定した配当を継続することを基本とし、株主資本配当率（DOE）2%以上を目標に、財務状況等を勘案しながら配当金額を決定しています。また、中期経営計画達成状況に応じて弾力的な還元策も実施してまいります。

(期末配当金)

1株につき50円とし、来る3月30日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。これにより、1株につき50円の間配当金と合わせ年間配当金は1株につき100円（前期実績と同額）になります。

(次期配当予想)

中間配当金、期末配当金ともに1株につき50円（年間配当金は1株につき100円）とし、当期と同額の配当を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準に基づく連結財務諸表及び個別財務諸表が経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断し、日本基準を適用しています。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用については、日本基準のコンバージェンスの動向や経営環境等を踏まえ検討していきます。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,509	121,440
受取手形及び売掛金	52,819	59,286
商品及び製品	52,551	35,317
仕掛品	3,141	2,359
原材料及び貯蔵品	26,295	23,186
その他	5,331	4,973
貸倒引当金	△166	△163
流動資産合計	241,482	246,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,686	163,576
減価償却累計額	△87,253	△91,838
建物及び構築物（純額）	75,432	71,738
機械装置及び運搬具	684,746	688,272
減価償却累計額	△427,618	△438,447
機械装置及び運搬具（純額）	257,128	249,825
土地	11,467	11,399
建設仮勘定	12,423	19,532
その他	21,178	22,560
減価償却累計額	△18,948	△19,327
その他（純額）	2,229	3,232
有形固定資産合計	358,682	355,727
無形固定資産		
投資その他の資産	7,306	5,207
投資有価証券	52,478	47,434
繰延税金資産	2,317	1,846
その他	2,554	1,543
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	57,329	50,804
固定資産合計	423,318	411,739
資産合計	664,800	658,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,892	28,501
短期借入金	23,874	47,019
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,355	1,533
事業構造改善引当金	—	1,269
事業場閉鎖損失引当金	1,047	864
その他の引当金	61	156
その他	25,253	24,230
流動負債合計	96,485	103,576
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	44,604	34,668
繰延税金負債	10,277	9,225
特別修繕引当金	11,867	9,341
その他の引当金	18	20
退職給付に係る負債	939	1,035
その他	3,453	3,350
固定負債合計	91,160	77,643
負債合計	187,645	181,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,358	34,310
利益剰余金	405,560	411,137
自己株式	△10,258	△10,178
株主資本合計	461,815	467,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,147	18,775
繰延ヘッジ損益	48	98
為替換算調整勘定	△10,981	△14,101
その他の包括利益累計額合計	10,215	4,773
非支配株主持分	5,123	4,721
純資産合計	477,154	476,920
負債純資産合計	664,800	658,139

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	257,511	242,886
売上原価	202,622	191,429
売上総利益	54,888	51,456
販売費及び一般管理費	38,629	33,795
営業利益	16,258	17,660
営業外収益		
受取利息	653	710
受取配当金	1,322	1,102
補助金収入	439	477
為替差益	—	935
その他	1,035	1,205
営業外収益合計	3,450	4,431
営業外費用		
支払利息	695	587
休止固定資産減価償却費	584	1,228
固定資産除却損	249	480
為替差損	1,604	—
その他	1,201	687
営業外費用合計	4,334	2,983
経常利益	15,373	19,109
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	4,393	2,941
投資有価証券売却益	14	2,592
その他	854	938
特別利益合計	5,263	6,472
特別損失		
減損損失	34,775	2,419
事故損失	3,756	1,525
事業構造改善費用	47	1,336
その他	1,326	403
特別損失合計	39,905	5,685
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△19,268	19,896
法人税、住民税及び事業税	2,671	3,936
法人税等調整額	11,297	435
法人税等合計	13,969	4,372
当期純利益又は当期純損失(△)	△33,237	15,524
非支配株主に帰属する当期純利益	431	271
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△33,669	15,252

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△33,237	15,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,665	△2,371
繰延ヘッジ損益	△60	50
為替換算調整勘定	△2,646	△3,153
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	32
その他の包括利益合計	△1,114	△5,441
包括利益	△34,352	10,082
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△34,784	9,810
非支配株主に係る包括利益	431	271

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	32,155	34,365	448,909	△10,308	505,121
当期変動額					
剰余金の配当			△9,661		△9,661
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△33,669		△33,669
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△7		50	42
その他			△17		△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△7	△43,348	49	△43,306
当期末残高	32,155	34,358	405,560	△10,258	461,815

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	19,481	108	△8,260	11,330	5,095	521,547
当期変動額						
剰余金の配当						△9,661
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△33,669
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						42
その他						△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,665	△60	△2,720	△1,114	27	△1,086
当期変動額合計	1,665	△60	△2,720	△1,114	27	△44,393
当期末残高	21,147	48	△10,981	10,215	5,123	477,154

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	32,155	34,358	405,560	△10,258	461,815
当期変動額					
剰余金の配当			△9,663		△9,663
親会社株主に帰属する当期純利益			15,252		15,252
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△47		81	34
その他			△12		△12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△47	5,576	80	5,610
当期末残高	32,155	34,310	411,137	△10,178	467,425

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,147	48	△10,981	10,215	5,123	477,154
当期変動額						
剰余金の配当						△9,663
親会社株主に帰属する当期純利益						15,252
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						34
その他						△12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,371	50	△3,120	△5,441	△402	△5,844
当期変動額合計	△2,371	50	△3,120	△5,441	△402	△234
当期末残高	18,775	98	△14,101	4,773	4,721	476,920

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△19,268	19,896
減価償却費	28,576	24,931
減損損失	34,775	2,419
投資有価証券売却損益(△は益)	△14	△2,592
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△5,907	△2,525
為替差損益(△は益)	1,106	△769
受取利息及び受取配当金	△1,975	△1,813
支払利息	695	587
売上債権の増減額(△は増加)	3,073	△5,442
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,209	20,208
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,513	△7,390
その他	440	1,506
小計	23,778	49,017
利息及び配当金の受取額	1,943	1,827
利息の支払額	△771	△631
保険金の受取額	615	376
法人税等の支払額	△3,928	△2,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,637	47,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	125	4,434
固定資産の取得による支出	△13,962	△25,171
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△201	—
その他	△276	977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,316	△19,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△696	116
長期借入れによる収入	1,225	16,233
長期借入金の返済による支出	△11,759	△3,048
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△9,661	△9,660
非支配株主への配当金の支払額	△592	△674
その他	△490	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,976	△7,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△616	△124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,271	20,238
現金及び現金同等物の期首残高	116,248	100,977
現金及び現金同等物の期末残高	100,977	121,215

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は一時的で、当社グループ製品への需要は当第2四半期連結会計期間を底に回復しており、翌連結会計年度以降は、当社グループの事業に著しい影響を与えるものではないと仮定して、固定資産の減損会計等に関する会計上の見積もりを行っています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、上記の仮定の状況に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社グループのセグメントは、ガラス事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(1株当たり情報)

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

1株当たり純資産額 4,886円10銭

1株当たり当期純利益 157円84銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

親会社株主に帰属する当期純利益 15,252百万円

普通株主に帰属しない金額 一百万円

普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 15,252百万円

普通株式の期中平均株式数 96,634,409株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。